

キリスト教神学入門

山崎チャペル内一宮基督教研究所

安黒 務

E-mail: aguro@mth.biglobe.ne.jp

<http://www.aguro.jp/>

キリスト教教理入門

1. 神学をすること
 2. 神の啓示
 3. 神の性質
 4. 神のみわざ
 5. 人間
 6. 罪
 7. キリストの人格
 8. キリストのみわざ
 9. 聖霊
 10. 救い
 11. 教会
 12. 終末
-

第十一部 教会論

- 第35章 教会の性質
 - 第36章 教会の役割と政治
 - 第37章 教会の儀式：洗礼と聖餐
 - 第50章 教会の性質
 - 第51章 教会の役割
 - 第52章 教会の政治
 - 第53章 教会の入会の儀式：洗礼
 - 第54章 教会の継続的儀式：聖餐
 - 第55章 教会の一致
-

第十一部 教会論

第37章 教会の儀式：洗礼と聖餐

1. 洗礼：教会の入会の儀式

1. 洗礼についての基本的な見方
 1. 救いの恵みの手段としての洗礼
 2. 契約の標識と証印としての洗礼
 3. 救いのしるしとしての洗礼
2. その問題の解決
 1. 洗礼の意味
 2. 洗礼の主題
 3. 洗礼の様式

1. 聖餐：教会の継続的儀式

1. 主要な見方
 1. 伝統的なローマ・カトリックの見方
 2. ルター派の見方
 3. 改革派の見方
 4. ツウィングリ派の見方
 2. その問題の解決
 1. キリストの臨在
 2. 儀式の効力
 3. 正しい執行者
 4. 適切な受領者
 5. 使用されるべき要素
 6. 儀式の頻度
-

A. 洗礼：教会の入会の儀式 導入

1. 入会の儀式

1. 普遍的・見えない教会
2. 地方にある・見える教会

2. 三つの問い

1. 洗礼の意味は？
 2. 正しい洗礼の対象者は？
 3. 正しい洗礼の様式とは？
-

第一節 洗礼の基本的な見方

第一項 救いの恵みの手段としての洗礼

1. 洗礼による再生:カトリック、ルター派
 2. 礼典主義者:救いの恵みを付与する手段
 3. 洗礼は、客観的に信者とキリストを一度きりでひとつにする
 4. ルター派
 1. 大人は信仰によって
 2. 子供・幼児もまた神の民の一部である
 5. 子供もまた洗礼を授けられた
 6. 信仰のみによる義認との矛盾
 7. 洗礼の様式は重要なものではない
-

第一節 洗礼の基本的な見方

第二項 契約の印・印章としての洗礼

1. 改革派・長老派は契約の概念と
 2. 洗礼は契約への入会的手段
 3. 信者の子供たちも契約の子孫である
 4. 割礼の儀式と洗礼の儀式
 5. 主観的な応答ではなく、救いの約束の契約への客観的な入会
 6. 用いられる方法にではなく、洗礼の事実と結果
-

第一節 洗礼の基本的な見方

第三項 救いのしるしとしての洗礼

1. 信者に結果した内的変化の外的象徴として
 2. 洗礼は霊的な利益を付与しない、信仰と救いを前提にしている
 3. 信仰者の洗礼、必ずしも大人に限定しない
 4. 救いの象徴・証しとして
-

第二節 問題を解決する

第一項 洗礼の意味

1. マルコ16:16
 2. ヨハネ3:5
 3. ペテロ3:21
 4. 使徒2:37,38
 5. テトス3:5
 6. ローマ2:29
 7. ローマ6:1-11
 8. キリストのみわざについての真理の宣言
-

第二節 問題を解決する

第二項 洗礼の対象

1. 幼児洗礼あるいは信者の洗礼？
 2. 幼児洗礼は不適切である。
-

第二節 問題を解決する

第三項 洗礼の様式

1. ギリシャ語のバプティゾーの意味
 2. 新約聖書時代は浸礼であった。
 3. バプテスマが意味しているもの
 4. 信者のキリストとの同一化のしるし、告白
-

B. 聖餐：教会の継続的な儀式 導入

1. キリストの死を記念するものとして
 2. 多くの異なった解釈
 3. 意味しているもの、意味を経験すること
-

第一節 主要な見方

第一項 伝統的なローマ・カトリックの見方

1. トレントの公会議(1545-63)
 2. 実体変化の教理
 3. キリストの犠牲が再びささげられる
 4. 僧権尊重
 5. こぼす危険
-

第一節 主要な見方

第二項 ルター派の見方

1. キリストのからだと血は共在する
 2. 犠牲の儀式、僧権尊重の拒否
 3. 儀式の利益は？
-

第一節 主要な見方

第三項 改革派の見方

1. カルヴァンの聖餐の見方
 2. キリストは聖餐式に臨在される
 3. キリストの愛を証印される
 4. 陪餐者の信仰と授与力に
-

第一節 主要な見方

第四項 ツウイングリ派の見方

1. キリストの死の単なる記念である
 2. 信仰によってのみ受け取られる
-

第二節 問題を取り扱う

第一項 キリストの臨在 A

□ パンとぶどう酒は、キリストの...

1. カトリック:物質的なからだと血である。
 2. ルター派:物質的なからだと血を含む。
 3. 改革派:からだと血を靈的に含む。
 4. ツウィングリ派:からだと血を表現している。
-

第二節 問題を取り扱う

第一項 キリストの臨在 B

1. 文字通り「これはわたしの血である。」
 2. 概念的な困難さがある
 3. わたしは道、真理、いのち等々 - 多くの隠喩
 4. キリストの霊的臨在の思想はどうか？
 5. キリストとの関係・交わりの時として
-

第二節 問題を取り扱う

第二項 儀式の有効性

1. 個人的信仰・反応に比例して
 2. 聖餐式が象徴しているもの
 3. 聖餐式の意味を説明することの大切さ
-

第二節 問題を取り扱う

第三項 正しい奉仕者

1. 聖餐式の奉仕者は？
 2. 特に規定されていない
 3. 教会によって選ばれた人
-

第二節 問題を取り扱う

第四項 正しい陪餐者

1. キリストにある本当の信仰者
 2. 陪餐の資格は自己吟味する
-

第二節 問題を取り扱う

第五項 用いられるべき要素

1. 陪餐者の関心に依存
 2. 変わった代用品は避ける
-

第二節 問題を取り扱う

第五項 遵守されるべき頻度

1. 明白な教えは存在しない
 2. あまり長い空白がないように遵守すべき
 3. キリストへの信仰と愛を鼓舞する手段
-